

こおりやま 市議会だより

郡山市議会100周年記念 第210号 - 令和6年9月定例会 -

迫力ある和太鼓の音が議場に響く
—100周年記念議場コンサート—

【2、3頁 特集】

郡山市議会100年史

【20頁】

ごみの減量化対策特別委員会活動報告

主な掲載内容

特集	2、3頁
9月定例会の概要	4頁
市政一般質問	6頁
議場コンサート	22頁
12月定例会開催予定	23頁
議会報告会・意見交換会	24頁

100年史

START!

大正13年 11月

市制施行後初の市議会議員選挙で
30人の市議誕生!



塩田義智議員

大正13年 9月1日

郡山町と小原田村が合併し、**郡山市誕生!**



市制施行を記念して建てられた公会堂



久野三男議員

池田義人議員

大城宏之議員



昭和5年 麓山に新庁舎落成
(現県合同庁舎)



名木敬一議員

昭和40年

安積町など5町5村と合併、さらにその後中田村、西田村と合併し、
議員数は276人に



但野光夫議員

昭和20年

郡山空襲

日本一のマンモス市会に!



富樫賢太郎議員



平成9年 中核市へ移行



古山唯議員



八重樫小代子議員



會田一男議員



箭内好彦議員

昭和42年

市議会議員選挙により議員数は276人から44人に



諸越裕議員



平成6年 市役所分庁舎(現西庁舎)落成



飯塚裕一議員

昭和47年

市議会だより 創刊号発行



田川正治議員

昭和43年

朝日に現庁舎が落成



伊藤典夫議員

昭和49年

市議会 **50周年**



本田豊栄議員



栗原晃議員



福田文子議員



折笠正議員



郡山市議会

平成23年
11月12日

おんぷちゃん
誕生!!



岡田哲夫 議員

平成23年 東日本大震災発生
台風15号水害発生



石川義和 議員

平成22年

議会だより第149号が
中核市の議会報
コンクールで
最優秀賞獲得



山根悟 議員

郡山第二中学校の
合唱部・管弦楽部
による演奏

平成24年

初めて議場で
コンサートを開催



遠藤利子 議員

近内利男 議員

平成22年

3月20日

がくとくん
誕生!!



加藤漢太 議員

平成27年

東日本大震災、福島第一
原発事故、平成23年台風
15号水害での議会の活動を
まとめた「郡山市議会の
活動記録」を発行



三瓶宗盛 議員

良田金次郎 議員

平成19年

議会中継を開始



佐藤栄作 議員

令和6年

議会中継への
字幕表示を開始



平成27年

郡山市議会
基本条例を
制定



薄井長広 議員

平成31年

郡山市議会
BCPを制定



大木進 議員

令和3年

議会報告会・
意見交換会を
初開催



森合秀行 議員

令和元年

東日本台風
による
水害発生



村上晃一 議員

令和元年

市議会で
タブレットを導入し、
議会ICT化へ



遠藤隆 議員

郡山市議会100周年ご挨拶

100周年という大きな節目を迎えた今、郡山市政の発展の礎を築いてこられた先人をはじめとして、全ての皆様に敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。
市民の皆様のご信頼と負託に応えるべく、議員一丸となり、より良い郡山市を目指して尽力してまいります。

佐藤政喜 議長

廣田耕一 副議長

令和6年9月定例会の概要

児童手当の抜本的拡充に要する経費を含む、一般会計補正予算など議案28件、議案1件を可決、令和5年度決算認定等議案30件を認定

9月定例会を、9月4日から10月4日までの31日間にわたり開催しました。

初日は、会期の決定、諸般の報告に続き、ごみの減量化対策特別委員会から中間報告を受け、その後、市長が提出議案の提案理由について述べました。

10日から13日までは、18人の議員が市政一般質問を行いました。

19日と20日は、4つの常任委員会で付託された議案28件と請願2件を慎重に審査しました。

25日の本会議では、各常任委員会からの審査結果の報告を受けた後、2人の議員から賛成、反対の討論がありました。

その後、採決の結果、議案

25件を全会一致、一般会計補正予算など3件を賛成多数で可決したほか、請願2件を賛成少数で不採択としました。

10月1日から4日までの決算特別委員会では、令和5年度決算認定等の議案30件を審査しました。

最終日となる4日の本会議では、令和5年度決算認定等議案30件を全会一致で可決及び認定したほか、追加提出された公平委員会委員の選任等の人事案件2件に全会一致で同意しました。

また、議員提案として提出された厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の議案1件を賛成多数で可決し、全日程を終了しました。

常任委員会の審査状況

総務財政

問 定額減税補足給付金給付事業費に関し、給付対象者数が当初の見込みを上回った要因は何か。

答 令和5年度の課税状況の数字をもとに当初予算を計上していたが、国が作成した算定ツールを使用し、本年6月の基準日で算出したところ当初見込みを約5千人上回ったためである。

環境経済

問 猪苗代湖のラムサール条約登録を目指す目的は。

答 ラムサール条約の3つの柱である「①保全・再生、②賢明な利用、③交流・学習」をとおして、猪苗代湖の環境保全に関する地域住民の意識を更に高めることを第一の目的として登録を目指す。

建設水道

問 道路の舗装補修施工箇所選定の経緯と優先順位は。

答 舗装補修施工箇所の選定は主にパトロール実施時に発見した場合や行政センターからの要望等である。

市内全体的に道路を整備した時期が同時期であることから、舗装の劣化状況や各地区のバランスも考慮し、緊急性・必要性をもとに優先している。

文教福祉

問 児童手当の制度改正により支給対象が拡充され、申請が必要な人へ丁寧な説明が求められるが、現在までの進捗状況と申請に係る周知方法は。

答 9月2日から受付を開始し、半月ほどで約1千人分の申請がある。

周知については、18歳以下の子どもがいる世帯2万8千世帯にはがきを送付している。

賛否が分かれた議案等

賛成は「○」、反対は「×」と表記しています。

件名	議決結果	会派の賛否（議長を除く。）										
		志	新	郡	緑	自	日	立	無	立	れ	
		翔	政	山	風	由	本	憲	所	憲	い	
		会	会	市	会	民	共	民	所	民	虹	
		10人	9人	4人	4人	3人	2人	2人	1人	1人	1人	
9月25日 令和6年度補正予算関係議案等先議分												
補正予算	一般会計(第3号)	原案可決	○	※	※	○	○	×	○	○	○	×
条例改正	郡山市放課後児童クラブ条例	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
その他	郡山市放課後児童クラブの指定管理者に管理を行わせる施設の変更	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
請願	再審法(刑事訴訟法の再審規定)の改正を求める意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○
	オーガニック給食の実現に向けて、郡山市として検討を進めることを求める請願	不採択	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○
10月4日 議決分												
議会案	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書	原案可決	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○

欠席：自由民主党郡山市議団1名 ※新国会：賛成8 反対1、郡山市議会公明党：賛成3 反対1、志翔会：賛成9 反対1（本市議会では、採決時に賛成反対いずれの意思表示もしない場合は、反対したものとみなされます。）

全会一致で可決した議案等

補正予算	特別会計 国民健康保険(第2号)、後期高齢者医療(第2号)、介護保険(第2号)、熱海温泉事業(第1号)、母子父子寡婦福祉資金貸付金(第1号)、財産区(多田野、河内、月形、舟津、舘、浜路、横沢、中野、後田)(第1号)、水道事業(第1号)、下水道事業(第1号)
条例改正	郡山市職員の特殊勤務手当に関する条例
	郡山市保育所条例
	郡山市国民健康保険条例
	郡山市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例
その他	工事請負契約(ため池防災・減災事業対策工事(上の池(上)))
	工事請負契約の変更(東部幹線(富久山)橋梁上部工整備工事)
	財産の取得(水中ポンプ28台)
	福島県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更

その他	専決処分の承認を求めること
	令和5年度一般会計歳入歳出決算認定等30件
	郡山市公平委員会委員の選任
	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること

— 補正予算の事業一例 — 郡山公会堂改修事業 719万円



市制施行100周年の節目に100年前の電燈を復元する費用。

中学校給食センター改修費 6,941万円

老朽化した2つの給食センターを集約し、新しい給食センターの建設に向けた費用。



中学校給食センター



中学校第二給食センター

賛否などの詳細は市議会ウェブページを御覧ください。



議案等に対する
各議員の賛否



請願文書

令和6年9月定例会

市政一般質問

● 今回の質問者数 18名

● 掲載項目

行った質問のうち、質問者が選択した2項目を掲載しています。
また、掲載項目は質問者間で重複しないよう調整しています。

● 記事の内容

掲載の質問や答弁は、要約していません。詳細は、議会中継や会議録を御覧ください。

● 録画中継

各記事のQRコードから、録画中継が御覧いただけます。

● 会議録

市議会ウェブページや次の施設で御覧いただけます。

- ・ 市政情報センター(市役所本庁舎1階)
- ・ 中央図書館・希望ヶ丘図書館
- ・ 安積図書館・富久山図書館

なお、令和6年9月定例会の会議録が御覧いただけるのは、11月下旬になります。



会議録検索システム

一般質問



郡山市議会公明党

ただの 但野 みつお 議員



防災基本計画の修正の認識について

問 自然災害が激甚化・頻発化する中、国や自治体の災害対応の検証や見直しは不可欠であり、政府の中央防災会議では本年6月に防災基本計画に「福祉的な支援」の必要性を明記する等の修正を行ったが、国の修正内容について、どのように認識しているのか。

答 防災基本計画の修正への対応については、県の地域防災計画の動向や本市の実情及び既存の取組み等を踏まえ、地域域防災計画に新たに盛り込むべき項目等について修正等を図り、国が示す「行政サービスから行政サポートへの転換」を図りながら、自助を核とした共助による市民が主体的な防災対策の更なる推進を図る。

行政機関窓口等への聴覚補助機器等の配備について

問 高齢化に比例し、難聴者も増加しており、難聴によって人や社会との交流を避け、孤立や認知症のリスクも懸念される。
難聴対策として新技術による補聴器も開発される中、合理的配慮の一環として聴覚補助機器等の配備を推進すべきと考えるが見解は。

答 聴覚補助機器は、窓口利用の一助になることや窓口対応が円滑になることが考えられることから、関係部局と連携し、耳が聞こえにくい人の利用頻度が高い窓口につき3か所程試験的に配置し、利用者の声を聴く等、その効果を検証する。



一般質問



立憲民主党郡山

八重樫

小代子 議員



法に基づく市町村計画の策定について

問 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が施行され、県は3月に基本計画を策定したが、本市も計画策定に向けた準備をしているのか。

答 2023年度の女性相談件数は、前年度と比較して約31%増加しており、困難な問題を抱える女性の年代や相談内容等多様化していることを鑑み、個別の課題に対して効率的かつ効果的な支援を推進するための基本的計画が必要であると認識している。

今後は、県の基本計画等と整合性を図りながら、2025年度中に策定を予定している第四次こおりやま男女共同参画プランと一体的に、女性に関する包括的な計画として策定していく。

本市の再生可能エネルギー導入について

問 市気候変動対策総合戦略では、再生可能エネルギー発電量の割合の目標値を2030年度までに50%としている。2020年度は18%だったが、公共施設への整備予定は、

答 本市では、率先して公共施設への再生可能エネルギー設備の積極的な導入を進めており、2023年度までに31施設に導入した。

今年度は5施設、来年度は4施設への整備を予定しており、今後も、総合戦略の目標値である2030年度の50施設の達成に向けて事業を進め、気候変動・地球温暖化時代に対応した郡山の実現を目指していく。



市気候変動対策総合戦略

一般質問



緑風会

池田

義人 議員



100周年を記念したフロンティア大使のPRについて

問 フロンティア大使の功績を紹介する恒常的な場所を、市制施行100周年のレガシーとして設置すべきでは。

答 フロンティア大使の経歴や活躍を紹介するコーナーを、大使の専門分野に関連する公共施設に開設しており、市ウエブサイトでは、大使による講演会やスポーツ教室等の活動について継続して発信している。

今後も、大使の功績及び活動について、関連施設やイベントでのPRに加え、DXを推進し、ウエブサイトや各種SNS、デジタルサイネージ※等を効果的かつ戦略的に取り入れながら、積極的に発信していく。

※デジタルサイネージ…電子看板。

安積永盛駅周辺の円滑な交通について

問 安積永盛駅周辺からビッグパレットふくしま周辺にかけての交通アクセスの向上を図るためには、安積永盛駅の北側への移転、路線バスの見直し等も含め、当該地域全体として様々な視点から検討すべきと考えるが見解は。

答 安積永盛駅の北側移転については、多額の費用と時間を要することから実現には課題が多いものと考えている。

ビッグパレットふくしまのアクセスについては、郡山合同庁舎の移転に併せ、当駅西口広場へのバス乗入れについて、現在、福島交通株式会社と協議を進めている。



ビッグパレットふくしま

一般質問



立憲民主党郡山

飯塚 裕一 議員



子ども食堂の拡大と充実について

問 現在、29団体が子ども食堂を実施しているが、3月時点で、まだ31校区に子ども食堂が設置されておらず、今後、未設置地区にどのように拡大を図っていくのか、計画と具体的支援策を伺う。

答 未設置地区へは、今後も実情把握等を継続し、好評を得た子ども食堂キャラバンにより、引き続き、地域や企業等へ活動を周知し、子ども食堂の拡大を進める。
また、関係団体と連携して、保健・福祉フェスティバル郡山やこおりやま産業博で取組みを周知し、子ども食堂に対する理解の醸成を図る予定であり、今後も、更なる支援の機会創出を図るなど、子ども食堂の充実に努めていく。

交通ネットワーク構築と交通困難者への支援充実について

問 6月定例会で予算議案が可決された公共交通の空白地等基礎調査事業のスケジュールを見ると、モデル事業開始は2027年度以降と考えられる。

答 今後実施予定の社会実験や国の補助金等の交付状況も踏まえ、前倒し可能な事業については、交通事業者と協議を進めるなど、ウエルビーイング※な交通ネットワークの早期実現に努める。



令和6年6月補正予算の概要

※ウエルビーイング…幸せや生きがいを感じられる状態。

一般質問



日本共産党郡山市議団

岡田 哲夫 議員



健康長寿サポート事業を活用したバス無料化について

問 高齢者健康長寿サポート事業の助成をバスの年間定期券購入に充てる場合は、追加の自己負担なく購入できるよう、バス運行会社と協議することを提案するが見解は。

答 福島交通の「ノルカパス75」の12か月定期券2万3千円に当該事業利用券8千円分を充当でき、重い負担になるとは考え難いと認識している。
また、運行会社との協議について、事業者は公共交通の運行等に関し、地方自治体の意見を聞く義務はなく、事業経費は運行会社の負担となるため適切ではなく実施は考えていない。



資格確認書の発行について

問 マイナ保険証を保有しない国民健康保険の被保険者への資格確認書の送付については、「希望に応じ」とする自治体もある中、誰もが安心して受診可能な環境を保つため、本人の希望によらず被保険者に送付する「プッシュ型」の対応も可能と考えるが見解は。

答 令和5年12月22日付け、厚生労働省保険局国民健康保険課からの事務連絡により、「当分の間、マイナ保険証を保有していない者については、本人の申請によらず保険者が交付する運用とする。」とされた。
本市でも当分の間、被保険者からの申請を求めず、職権により資格確認書を交付する。

一般質問



志翔会

大河原 おおかわら

裕勝 ひろかつ
議員



郡山西部工業団地に向かう
交差点の渋滞対策について

問 県道長沼喜久田線と市道三穂田熱海線の交差点は、どちらも片側1車線のため、右折車が道を塞ぎ、通勤時間帯では渋滞が発生している。

交通量の多い県道に、右折レーンや時差式信号などの対策が必要と考えるが見解は。

答 県に対し、当該交差点の改良に係る要望等について照会をしたところ、現在まで地元要望はなく、改良計画は有していないとの回答であった。

今後は、毎年開催している県と市のまちづくり意見交換会において、右折レーンを設置するなど、交通混雑の対策実施について要望していく。



渋滞が発生する交差点部

公共下水道整備事業の実施
方法について

問 デザインビルド（DB）方式等による入札への参加しづらさを訴える声を聞くが、地元事業者の受注機会を狭めるような方式での事業実施は避けるべきと考えるが見解は。

答 DB方式は、民間企業の技術力の活用と設計・施工の一括発注により、迅速化、効率化が図られるものである。

本市は、地元事業者を対象に説明会と聞き取り調査を行い、その手法を取り入れており、公募型プロポーザル※の事業者選定では、市内事業者のみでの共同企業体を可能とし、評価項目に市での下水道整備実績や災害協定等を盛り込むなど、市内事業者の積極的な参加について考慮した。

※公募型プロポーザル：広く事業者を募集し、技術提案書等の審査により選定する方式

一般質問



れいわ虹の会

古山 ふるやま

唯 ゆい
議員



医療的ケア児について

問 医療的ケア児対応の放課後等デイサービス事業所を、市が新たに開設すべきでは。

答 本市の当該事業所開設状況は、9月1日現在57か所、その内、医療的ケア対応の事業所は4か所である。

事業所の運営は、社会福祉法人や民間事業者により、障がい児の障がい程度や状況に応じて適切に役割を果たしており、事業者をサポートすることが市の役割と考えている。引き続き新規開設を希望する事業者に対し、医療的ケア児対応のニーズを説明し、利用者ニーズに対応できるように努めていく。



万博開催予定地の危険性について

問 地盤が最大で70センチ近く沈下する危険性のあることが判明した中、修学旅行の目的地の一つにすることは危険であると考ええる。

現時点で開催予定地の危険性を対象生徒はもちろん、保護者にどのような形で周知されているのか。

答 4月8日付け文部科学省文書「修学旅行等における2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の活用について」を発売し、各学校に同万博の各種パビリオンの準備状況や修学旅行の特別割引料金等に関する情報を提供した。今後、国から同万博に係る文書が発出された場合には、速やかに該当校に周知していく。

一般質問



志翔会

薄井 すすい

長広 議員



郡山駅西口タクシー専用レーンの設置について

問 郡山駅西口南側ロータリーは、タクシーと一般車両の乗り入れが可能なため、送迎等で待機する車両による大渋滞が発生している。

当該ロータリーをタクシー専用レーンに変更し、交通の流れを効率化してはどうか。

答 限られた区域内で整備する必要があったことや、車両の円滑な出入りのため、駅前大通りの交差点に合わせて、車両の出入口を設置しなければならなかったことなどから、現在の形状に整備した。

タクシー専用への変更は、一般車を利用するスペースを確保できないことから、現在のところ考えてないが、当該ロータリーの在り方について関係機関と協議を進めている。

市主催の婚活イベントの充実について

問 市内の独身者を対象とした婚活イベントを市が主催し、市外からの参加者を呼び込むことで、結婚促進と人口増加を図ることができると考えるが、イベントを開催する計画や支援策の検討は。

答 婚姻は基本的人権に関わる問題であり、憲法第24条の趣旨の尊重を念頭に、本市では県が導入したマッチングシステム「はぴ福なび」の入会登録料の半額を補助している。今後も、婚活イベント実施自治体の事例等から効果や課題に関する情報を収集し、効果的な婚活支援を検討していく。



婚活に向けたアドバイスを行う婚活イベント

一般質問



無所属の会

箭内 やない

好彦 議員



福祉避難所の運営方針の見直しについて

問 個別避難計画の作成過程等から避難行動要支援者の避難に関する希望事項や障がい状況等を把握可能と考えるが、それを踏まえ、当初から福祉避難所を開設できないか。

答 本市では、14市施設、災害支援協定締結の37社会福祉法人施設を福祉避難所に指定している。

その開設等は、国・県指針準拠の市マニュアルに原則基づくが、令和6年能登半島地震の避難所運営状況を踏まえ、本年初めて当初から総合福祉センターに開設し、さらに協定法人施設に対し、3月改訂の市マニュアル説明会の開催及び受入可能人数の事前確認の実施等、開設等の体制及びネットワーク強化を図った。

学びの多様化学校の設置について

問 不登校児童生徒の学びを選択する一つである「学びの多様化学校」について、本市でも調査研究から更に進めて設置を検討してはどうか。

答 令和5年3月に文部科学省から不登校対策として設置促進が示され、不登校児童生徒が増加傾向にある本市でも、学びの保障に向けた取組みとして重要と認識しており、10月には視察を計画している。

今後も、不登校児童生徒の実態や願いを把握するとともに、施設や環境等も含めた学びの多様化学校について、更なる調査・研究に取り組んでいく。



一般質問



新政会 富樫 とがし

賢太郎 けんたろう 議員



愛宕川流域浸水被害軽減対策事業のスケジュールについて

問 愛宕川流域浸水被害軽減対策事業の現状と今後のスケジュールについて伺う。

答 現在、善宝池の堤体安定性能調査を実施しており、その結果に基づき雨水貯留施設詳細設計を行うとともに、仮設道路の整備等を行っていく。

来年度からは、善宝池貯留施設改築工事に着手し、2027年度までの3か年で、放流工や堤体及び池底掘削等の工事を進め、雨水貯留量を現在の約2倍に拡大し、貯留機能の更なる強化を図っていく。

また、善宝池上流域の愛宕川は、改築工事の進捗を踏まえ、計画的に改修を進める。



令和7年度に改築工事に着手予定の善宝池

再生可能エネルギー促進と環境保全の両立について

問 メガソーラーを巡っては、事業者と住民等とのトラブルが顕在化しているが、再生可能エネルギーの導入拡大と環境保全の両立に向けて、どのように取り組んでいくのか。

答 メガソーラー等の大規模開発事業の実施にあたっては、事業者に見解を述べる権限を持つ知事に対し、本市の意見を事業ごとに提出している。

さらに、いわゆる盛土規制法に基づき、盛土等により人家等に被害を及ぼしうる規制区域を指定し、一定規模以上の盛土等を許可対象とした。

今後、開発事業者に対して、地元住民へ丁寧な説明や法令を遵守したうえで再生可能エネルギーの導入拡大及び利用促進を働きかけていく。

一般質問



志翔会 伊藤 いとう

典夫 のりお 議員



松くい虫の被害にあった松の伐木への支援について

問 湖南町の舟津・館・横沢地区の猪苗代湖岸にある松林は、県が指定する防風保安林であり、かつ風光明媚な観光地でもあることから、積極的に県に働きかけ、県も市も、費用面での支援を行うべきと考えが見解は。

答 本年度は、舟津地区及び館地区の一部において、11月から約60本を300万円の事業費で伐倒、燻蒸する予定である。

今後は、松くい虫被害の発生状況に応じて、調査・伐倒・燻蒸処理を行うための財源確保等に向け、継続して県に働きかけていく。



松くい虫の被害にあった松

市と生産農家との関わり方について

問 ふくしま逢瀬ワイナリーの運営母体が民間に移譲された後の、市と市内ワイン用ブドウ生産農家との関わり方について見解は。

答 本市ではこれまで、現在では13戸となった郡山地域果実醸造研究会とともに、郡山産ワインの生産を軌道に乗せるため、同研究会に対し、約9haのほ場の整備をはじめ、作業管理機1台の導入補助等、総額約5千600万円の事業費により、支援を行ってきた。

今後、新たなワイナリー運営事業者と良き役割分担のもと、気候変動に対応した栽培技術の向上や、生産体制の整備等を、同研究会とともに産学官連携をして、果樹農業6次産業化を推進していく。

一般質問



新政会 遠藤 えんどう

利子 としこ 議員



子どもの救急医療に関する
今後の課題について

問 子どもの救急医療に関する今後の課題をどのように捉えているのか。

答 小児医療及び小児救急医療について、本市は小児科医数がほぼ横ばいで推移しているが、郡山医師会からは、医師の高齢化等により休日・夜間急病センターへの配置に苦慮しているとのことである。

また、郡山地方広域消防組合による年齢区分別の搬送人員の分析では、軽症者の割合が最も高いのは、10歳から14歳となっていることから、今後の課題は、小児科医の人材確保と、救急搬送数の減少による、医療従事者の負担軽減等であると認識し、医療に関する知識の周知や関係組織と課題解決に向け協議していく。

小学校におけるフッ化物洗
口実施校の拡充について

問 現在、本市においてフッ化物洗口を実施している小学校5校の虫歯有病率は明らかに減少し結果が出ていることから、フッ化物洗口の実施校を増やすべきでは。

答 本市小学校の虫歯予防として、歯科健診、歯みがき指導や給食後の歯みがき等を講じており、改善傾向にあると認識している。

また、本市のフッ化物洗口実施校の虫歯有病率は、開始前の約72%から約52%に減少し、一定の効果を認めるものであり、今後も、学校でのフッ化物洗口の在り方について関係機関と検討していく。



一般質問



郡山市議会公明党

小島 おじま 寛子 ひろこ 議員



「ブックスタート」の実施
について

問 ウェルビーイングを高めるために赤ちゃんに絵本を贈る「ブックスタート」を実施すべきと考えるが見解は。

答 本市のブックスタートは、令和5年策定の市図書館基本的運営方針において本市のベビーファースト運動に基づく「絵本を通じた親子の居場所づくり」の一つと定めており、子どもの言語能力の向上や親子による自然な読書習慣が身につく等の効果があると考えられている。

このため、これまでの実績や効果等を検証するとともに、部局間連携や財源確保等、本市における効果的な導入について、市図書館協議会の意見を聴く等、検討を進める。

ACP（人生会議）※の
普及促進について

問 本市は、郡山市版エンディングノートの作成や講座の実施等、これまでの取り組みを通し、ACPの普及促進をどのように考えていくのか。

答 当該取組みの普及促進については、3月策定の第九次郡山市高齢者福祉計画・郡山市介護保険事業計画において、在宅医療・介護連携推進の重点事業に位置づけ、今後も研修会や出前講座のほか、広報紙やウェブサイトで更なる普及啓発に努めていく。



※ACP（アドバンス・ケア・プランニング）：人生会議、もしものときのために、望む医療やケアについて、前もって考え、身近な人々と繰り返し話し合い、考えを共有する取組みのこと。

一般質問



新国会 福田 文子 議員

新国会 福田 文子 議員



(仮称)市こども計画における青年期への支援について

問 国のこども大綱では、18歳から30代までの青年期も対象としているため、策定作業を進めている(仮称)市こども計画でも、子ども・若者支援地域協議会の仕組みを盛り込み、青年期への支援を明らかにすべきと考えるが見解は。

答 本市では、子ども・若者に関する課題についての理解と支援施策検討のための学習会や、民間団体との公民連携ワークショップにより議論を深めながら、(仮称)市こども計画への青年期支援施策の位置付けについて検討している。青年期の課題の多くは多分野に渡るため、子ども・若者支援地域協議会も含め、連携基盤の在り方とその構築についても検討していく。

訪問介護サービスを取り巻く本市の現状について

問 持続可能な訪問介護サービスを提供し続けることは、希望する人が住み慣れた地域等で自立した生活を送るために必要と考えるが、当該サービスを取り巻く本市の現状は。

答 訪問介護事業所は、制度創設時から31事業所増加、利用件数も2023年度は2022年度と比較して6千595回増加しており、現在は必要なサービスが提供されている。2040年以降、85歳以上人口の増加等と生産年齢人口の急減が見込まれることから、人口動態や社会変化等を捉えながら、介護保険サービス提供の充実に取り組んでいく。



サービスを受ける利用者

一般質問



立憲民主党 吉田 公男 議員

立憲民主党 吉田 公男 議員



避難所給食について

問 7月の記録的な大雨で被害が出た山形県戸沢村のように、避難所では学校給食施設を利用して温かい食事を提供すべきと思うが見解は。

答 市地域防災計画で、米飯の炊き出しは、「学校給食センター、小中学校給食室、公民館等を使用する」と定めており、「社会福祉協議会等の協力を得て実施する」としている。国の防災基本計画の修正で、市町村が担うべき項目として「栄養バランスのとれた適温の食事の提供に努めること」が追加されたことから、今後、具体的な運用方法について、協力団体等と協議を行う。



避難所での食事(山形県戸沢村)

重機等を使用するNPOとの連携について

問 被災住民の支援を行う重機ボランティア等を早期に受け入れるため、社会福祉協議会に任せるだけでなく、行政として重機等を使用するNPOなどと支援協定を結ぶべきと思うが見解は。

答 ボランティアの援助については、社会福祉法第109条に基づき、社会福祉協議会が中心となって実施しており、災害時においては、災害ボランティアセンターを設置するなど、被災者支援を行っている。9月に、災害ボランティア講座が開催された際、重機等の使用も含む技術系災害ボランティアとの連携等についても情報交換があり、今後、同協議会において調査・研究を行っていくと聞いている。

一般質問



志翔会

塩田 しおた

義智 よしちも
議員



徳定土地区画整理事業の経緯と進捗状況について

問 当初事業計画から今日までの経緯と、現在の進捗状況は。

答 交通アクセス向上、治水対策を最重要課題として平成7年に当該事業に着手した。

平成8年から平成14年まで、事業の白紙撤回を求める請願等が出され、平成14年に一旦事業を休止し、地元住民と意見交換や権利者の意見を集約した事業計画の変更を行い、平成18年度に事業再開した。再開後、笹川大善寺線等の供用開始や準用河川徳定川の用地確保を図ってきた。

また現在の進捗状況は、令和5年度末までの全体事業費約151億8千200万円に対し、執行額約104億2千793万2千円で、事業費ペースで68.7%である。

徳定土地区画整理事業の今後の見通しについて

問 令和10年度までに完了できるのか、今後の見通しは。

答 事業の今後の見通しについて、令和5年度末の道路整備延長は1万4千215mの計画に対して6千866mが改良済で、進捗率は48.3%、建物移転戸数は236件の計画に対して117件が移転済で進捗率は49.6%、仮換地指定については60%の指定率となっている。

このような状況から、今後の残事業量と清算期間を考慮すると、令和10年度に事業を完了することは困難であるため、5年程度の計画期間の延長に向けて国・県と協議を行い、事業計画を変更する考えである。



徳定土地区画整理事業ウェブページ

一般質問



自由民主党郡山市議団

三瓶 さんべい 宗盛 むねもり
議員



今後の水稻の品種について

問 温暖化に伴う気温の上昇により、現在の品種では高温の影響を受けやすくなると考えるが、今後の品種をどのようにすべきと考えているのか。

答 本市では、冷害の経験から、低温に強く、食味が優れた品種が多く栽培されているが、8月に福島大学、国、県、JA等で構成する「郡山市の農業分野における気候変動適応研究会」を設置し、気候変動に対応した農業政策の検討を開始しており、高温耐性を持つ品種開発等の情報収集に努める考えである。

しかしその一方で、低温の影響も考慮すべき状況にあることから、産学官連携により、一つの品種に偏らない多様な品種栽培を進めていく。

子どもの学習等支援に係る事業拡充について

問 今後、利用希望者が増えれば拡充する考えはあるのか。

答 本市で実施している学習支援及び生活支援の事業について、今年度、100%定員を充足して実施している。

今年度、保健福祉部では、教室型、通信添削型に加え、新たに中学3年生を対象に自宅で行うオンライン上での集団塾形式による受験対策用学習支援を開始し、こども部では、募集定員を15名増加したところであり、今後も、事業の利用状況や参加者の意見を聞く等、ニーズの把握に努め、教育委員会と連携し、事業拡充を検討していく。



一般質問



緑風会 大木 進 議員
おおき すずむ



医療都市郡山を目指すまち
づくりについて

問 メディカルヒルズ郡山基
本構想2.0の計画区域は、医療
機器関連産業集積機能のほか、
備わることが望ましい機能と
して、商業・業務機能、緑地・
憩い空間機能、アクセス機能
としているが、整備に係る現
状と見通しは。

答 市市街化調整区域地区計
画運用指針（旧県農業試験場
本場跡地等周辺地区）におい
て地区計画の基準を定め、ふ
くしま医療機器開発支援セン
ターの立地を活かした医療関
連産業の集積を推進する区域
は、現在、総合南東北病院が
中心となり、地区計画案の作
成に向けて協議を進めている。
今後、都市計画提案制度に
より、地区計画の提案がなさ
れる予定である。

喜久田スポーツ広場の排水
の改善について

問 喜久田スポーツ広場は、
雨水により各行事が再三中止
となっており、8月の台風7
号でも、広場一帯が水没した。
今後、このような被害にあ
わないよう、どのように改善
し管理整備していくのか。

答 当該広場の雨水は、
及び外周の水路から貯留槽を
經由し、排水している。
※
あんきよ

台風7号による水没を受け
て現地確認をした結果、暗渠
排水の機能は正常であったが、
貯留槽からの排水管が土砂等
により詰まることが判明した。
今後も、貯留槽の排水確保
に努めるな
ど、維持管
理を継続し
ていく。
※暗渠：地下に埋
設した水路のこと。



グラウンドが水没した
喜久田スポーツ広場

請願・陳情の方法

～ 市議会へ、いつでも、どなたでも要望を伝えることができます ～



紹介議員
が必要

紹介議員
は不要

	請 願	陳 情
受 付	市政一般質問初日の午後5時まで ※定例会中に審議を希望する場合	開会日翌日の午後5時まで ※定例会中に議員への配付を希望する場合
取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ●関係する委員会で審査の上、本会議で審議し、採択・不採択を決定します。 ●採択した請願のうち、市の事務に関するものは市長等へ送付し、処理の経過や結果の報告を求めます。国・県等の事務に関するものは意見書を提出します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●陳情書の写しを各議員に配付します。

市議会ウェブページを見てみませんか

郡山市議会のウェブページでは、本会議や委員会の会議録、市議会中継定例会日程など様々な情報を発信しております。

詳しくは郡山市ウェブサイト、右のQRコード、または、「郡山市議会」で検索してください。



議会PDCAサイクル

令和5年度対象事業の評価をまとめました

各常任委員会において、対象事業に関する進捗報告の聴取と評価を実施するPDCA※サイクルに取り組んでいます。今定例会で対象事業の評価を取りまとめましたので報告します。

※PDCA：計画(Plan)→実行(Do)→評価(Check)→改善(Action)の4段階を繰り返し、業務を改善する手法

	令和5年度対象事業とその評価
総務財政 常任委員会	◆旧豊田貯水池利活用事業 園路整備状況を視察するとともに、市民からの意見などの質疑を交わし、年度内の事業が、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。
	◆(仮称)郡山市歴史情報・公文書館施設整備事業 工事の進捗状況を視察するとともに、駐車環境・周辺道路などの質疑を交わし、年度内の事業が、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。
建設水道 常任委員会	◆開成山公園等Park-PFI事業 芝生の管理やランニングコースの整備などの質疑を交わし、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。
環境経済 常任委員会	◆ため池防災・減災事業 ため池の堆積土砂の掘削方法及び保管状況について質疑を交わし、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。
文教福祉 常任委員会	◆福祉まるごと支援事業 相談件数の増加に伴う相談体制の拡充などの質疑を交わし、年度内の事業が、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。
	◆SDGs推進全世代健康都市圏事業 事業への参加の働きかけなどの質疑を交わし、健康づくりキャンペーン、大学との共同研究等、年度内の事業が、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。
	◆子育て環境整備事業 おむつ交換台等の利用状況や、結婚新生活支援事業の補助要件などの質疑を交わし、年度内の事業が、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。



歴史情報博物館整備の進捗を視察



整備された開成山公園内のランニングコース



堆積土砂の撤去(酒蓋池)



令和5年度決算の審査を行いました —令和5年度決算特別委員会—

令和5年度一般会計歳入歳出決算認定等議案30件を原案のとおり可決及び認定。

令和5年度一般会計決算概要

歳入 1,491億4,023万円

歳出 1,413億715万円

詳細は市ウェブサイトをご覧ください。



決算



決算特別委員会は10月1日から10月4日まで開催され、令和5年度決算についての書類審査及び現地調査を実施しました。
委員会では、予算が適正かつ効果的に執行されたか、健全な財政運営がなされているかなどを審査しました。
審査の結果、決算認定等議案30件については、原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。

■現地調査

10月2日と3日は、現地調査を行い、施設の概要や事業内容等の説明を受けました。

◇対象事業

- ・小学校長寿命化改修事業（日和田小学校屋内運動場）
- ・公園整備事業（前北公園）
- ・ふれあい科学館展示物更新事業
- ・富久山総合学習センター改修事業
- ・通学路安全対策事業（行健第二小学校学区内）



前北公園



日和田小学校屋内運動場

決算とは？

市長は毎年度、法令に基づき各会計決算の認定議案を議会に提出します。

議会は、予算目的に沿って効率的、効果的に執行されたかどうかなどを審査します。

本市議会では、9月定例会で決算特別委員会を設置し、審査を行っています。

決算特別委員会の委員は、議長及び議会選出の監査委員を除いた全議員で構成しています。



富久山総合学習センター別館にある防災倉庫



ふれあい科学館プラネタリウム



照内川沿いの通学路

郡山市議会では、他自治体の先進的な事業や施設の調査・研究を目的に、行政調査を行っています。

総務財政常任委員会

■7月10日(水)

青森県八戸市

- ・YSアリーナの運営
- ・移住定住支援

■7月11日(木)

北海道函館市

- ・投票率向上策

■7月12日(金)

岩手県盛岡市

- ・盛岡市シティプロモーション
- ・盛岡市パートナーシップ・ファミリーシップ制度



担当職員の説明を聞く委員(函館市)

八戸市では、アリーナの運営において、アイスアリーナの中地を活用して、音楽イベントやコンベンション等多目的利用を推進していました。

また、移住定住支援策では、連携中枢都市圏を活用した取組みや市独自の事業により、他市との差別化を図っていました。

函館市では、選挙当日に指定投票所以外でも選挙が可能となる共通投票所制度を採用しているほか、アイドルグループがデザインされた投票済証の交付や、積極的な出前講座、障がい者に優しい取組みなどにより、投票率の向上を目指していました。

盛岡市では、ニューヨークタイムズ紙の「行くべき52か所」の第2位に選ばれたことを契機に、積極的な観光客誘致策を展開していました。

また、令和5年5月にパートナーシップ・ファミリーシップ制度を開始し、当事者が安心して暮らせるまちづくりを目指していました。

建設水道常任委員会

■7月10日(水)

愛媛県今治市

- ・自転車道路整備

■7月11日(木)

愛媛県今治市

- ・バリウォーター

香川県高松市

- ・自動運転実証調査事業

■7月12日(金)

徳島県徳島市

- ・AIデマンドバス「のるーと徳島市」



浄水場設備の説明を受ける委員

今治市では、しまなみ海道から中心市街地までの区間など、優先的エリアを抽出して安全で快適な自転車通行空間の計画的な整備に取り組んでいました。

また、新たに浄水場「バリウォーター」を整備し、クリーンセンターの余剰電力の活用や運転管理業務を別途発注して点検頻度を見直したことによる委託費の削減など、施設を効果的に運営していました。

高松市では、源平合戦の古戦場として有名な観光地である屋島の山上地区において、自動運転バスを実証運行し、技術的、経営的な観点からの評価や社会受容性の確認を行い、持続可能な公共交通の維持、確保に向けて取り組んでいました。

徳島市では、中心市街地エリア内での回遊人口の増加や住民の日常利用にAIデマンドバスを実証運行し、集客拠点から広がる域内交通の充実に向けて取り組んでいました。

常任委員会行政調査レポート

環境経済常任委員会

■7月9日(火)

山梨県甲斐市

・木質バイオマス発電プロジェクト

■7月10日(水)

新潟県上越市

・スマート農業

■7月11日(木)

石川県金沢市

・観光振興推進計画



木質バイオマス発電施設

甲斐市では、松くい虫被害木や間伐材などから作られる木質チップを燃料とした木質バイオマス発電によって、カーボンニュートラルを目指す取組みが行われていました。

また、給食残さ※や家庭から出る生ごみから液肥や堆肥などの肥料を生み出し、市民に無料で配布することで、農業の振興にも力を入れ、バイオマス産業都市としてのまちづくりを進めていました。

※給食残さ…給食室から出る生ごみや食べ残し。

上越市では、AIやIoT※などの先端技術を積極的に導入し、数年にわたり各種データを検証することで、農作業時間の短縮や生産量の増加が図られており、人手不足の解消に役立つ仕組みが整っていました。

※IoT…センサーなどの機器をインターネットに接続し、離れた所から物の状態の把握やデータの活用を可能にする技術。

金沢市では、デジタルマーケティングによるデータ分析を行い、質の高いプロモーションを実施していました。

また、観光デジタルマップやボランティアガイドなどの直接的な取組みにも力を入れていました。

文教福祉常任委員会

■7月9日(火)

兵庫県神戸市

・神戸市立児童センター「こべっこランド」

・こべっこ発達専門チーム

■7月10日(水)

兵庫県姫路市

・部活動の地域移行

■7月11日(木)

高知県高知市

・重層的支援体制整備事業

・こどもによるまちづくり



こべっこランドの音楽スタジオ

神戸市では、児童センターにおいて0歳から18歳までの年齢に応じた遊びや音楽・料理等体験の場を提供するほか、子どもの発達に不安を持つ保護者等の専門機関の受診待ちを解消するため、専門職による支援チームが発達二次健診や家族相談を行い、適切に関係機関につなぐ実証事業に取り組んでいました。

姫路市では、令和8年度の休日部活動の地域移行へ向け、複数の中学校による合同部活動や地域のスポーツクラブ等と連携した地域活動を行う「姫カツ」を展開していました。

高知市では、困りごとを気軽に相談できる相談窓口を市内の薬局等104か所に設置していました。

また、提案・審査・活動のすべてに子どもが参加する、こうちこどもファンド（基金助成事業）を実施し、こどもによるまちづくりを支援していました。

ごみの減量化対策特別委員会活動報告

ごみの減量化対策について意見を聴きました。



開催日

- 第9回 7月3日
- 第10回 7月4日
- 第11回 7月23日
- 第12回 8月23日

審議項目

- ・ 参考人からの意見聴取
- ・ 提言項目について

参考人からの意見聴取

7月3日、4日開催の委員会では、今後の審議の参考とするため、市内11団体の代表者を参考人として招致し、本市のごみの現状や今後の課題等について意見をいただき、種々質疑を交わしました。



参考人から意見を聴く委員

◇参考人

- ・ 郡山市自治会連合会
- ・ 郡山消費者力の会
- ・ 郡山市女性グループ連絡会
- ・ 郡山市PTA連合会
- ・ 特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク
- ・ 郡山商工会議所女性会
- ・ 郡山地区商工会広域協議会
- ・ 郡山飲食業組合
- ・ 福島さくら農業協同組合
- ・ グンダスト事業協同組合
- ・ 協同組合郡山市環境保全公社

■提言項目について

7月23日開催の委員会では、参考人からの意見聴取を踏まえ、各委員より提言項目案が提出され、提言の概要等の説明が行われました。

8月23日開催の委員会では、前回の協議及び行政視察の成果をもとに、提言書の骨子案について協議しました。

行政視察レポート

減量化に実績のある中核市を中心に「排出ルールの周知・啓発」、「指定袋導入」「資源循環」等の取組みについて、調査しました。

■視察先

- 7月24日 埼玉県川口市
- 東京都武蔵野市
- 7月25日 東京都八王子市
- 7月26日 大阪府豊中市
- 大阪府八尾市

■視察内容

川口市では、平成7年にクリーン推進員制度を導入し、地域住民代表等約600名の市民を委嘱し、廃棄物の減量や適正な処理の普及啓発など、地域住民と行政が連携しながらごみ減量化に取り組んでいました。



担当者の説明を聞く委員(川口市)

武蔵野市では、平成19年度に、ごみの発生を可能な限り抑制し、さらに雑紙や生ごみの資源化を実践してきた事業者の功績を認定表彰する優良事業者表彰制度を創設し、事

業系一般廃棄物の減量・資源化に取り組んでいました。

八王子市では、令和4年度の1人1日あたりごみ総排出量の少なさで中核市第1位を達成し、さらに循環型都市八王子プランを策定し、食品ロスの削減やプラスチック資源循環など、環境と経済が好循環する循環型社会の実現に取り組んでいました。

豊中市では、こども園等で着なくなった服を集め、必要な人に提供する「子ども服リユース事業」のほか、学校給食の調理くずや食べ残し等を堆肥化するリサイクル事業に取り組んでいました。

八尾市では、年2回、半年分のごみ袋を世帯人数に応じた全世帯に無料配布する家庭用指定袋制度により、分別による減量化に取り組んでいました。

令和6年度議員研修会を開催しました

■開催日

8月26日

■演題

ごみワーストからの脱却

■講師

福島大学

経済経営学類

教授 沼田 大輔 氏

■目的

郡山市議会基本条例に基づき、積極的な政策立案及び政策提案に関する能力の向上を図る。



講師の沼田先生

環境省が発表した、2022（令和4）年度の市町村別ごみ排出量によると、本市の1人1日あたりのごみ排出量は、三年連続で中核市62市ワースト1位であり、本市においては、現在、ごみ減量に

向けて様々な施策を展開しているところ です。

また、本市議会においても、昨年12月に、ごみの減量化対策についての調査・研究を行うことを目的に、ごみの減量化対策特別委員会を設置し、市民や関係団体等からの意見聴取や他自治体における事例等調査を行うなど、ごみ減量に向け活動しています。

研修会では、ごみワースト脱却に向けたヒントについて、ごみ処理有料化などの各自治体における取組み事例を用いながら、わかりやすく解説いただき、その後、種々質疑が交わされました。



研修中の様子

トピックス

◆ うねめまつり踊り流しに参加しました

8月2日（金）の踊り流し1日目に議員36名が参加しました。



◆ 令和6年度福島県市議会議員研修会に参加しました

議員37名が参加しました。

■開催日 8月22日

■会場 パルセいいざか（福島市飯坂町）

■演題 政治分野のハラスメントの防止に向けて
～ハラスメントの実態から考える～

■講師 Stand by Women 代表
女性議員のハラスメント相談センター共同代表 濱田 真里 氏

■内容

政治分野におけるハラスメントの実例や現状、実際に対策を講じている自治体について紹介し、ハラスメントの定義と防止策について説明いただきました。



大盛況! 市議会100周年記念イベント 議場コンサート



9月4日(水)9月定例会開会前に帝京安積高等学校和太鼓部のみなさんによる議場コンサートを開催しました。

当日は観客席として用意していた議場と傍聴席が満席になるほど、大勢の方にお越しいただきました。



1曲目の天響は、和太鼓の力強い音と、さらに迫力ある生徒のみなさんの表情や動きが、観客を魅了していました。

2曲目の帝京音頭ミックスでは、観客も一緒に手拍子をして、会場一体となった楽しい演目でした。

和太鼓の魅力を存分に感じるコンサートとなりました。



コンサートを終えてインタビュー ～和太鼓部～

郡山市議会100周年の記念すべき年に、記憶と記録に残る素敵な場を与えてくださったことを誇りに思います。当日の私たちの太鼓が、この先の未来に向かう郡山市政の力になったとしたら嬉しいです。



鈴木 祐雅さん(3年)

ご来場くださった皆様で埋め尽くされた議場内、そして満席の傍聴席。あの景色は忘れられません。皆様の笑顔と温かなご声援に支えられ、私たちも元気をいただきました。ありがとうございました。



柳沼 茉奈果さん(2年)

観覧した方に感想を伺いました

和太鼓の演奏を鑑賞したのは初めてでしたが、和太鼓の迫力ある音や部員の皆さんの息の合った演舞に、終始息をのんで聴いていました。

太鼓の音には邪気祓いの意味もあると以前聞いたことがあります。市議会100周年の慶賀と、これからの安寧な発展への祈念となる素晴らしいコンサートでした。



編集 後記

今号の表紙は、9月4日に行われた郡山市議会100周年記念議場コンサートにて、帝京安積高等学校和太鼓部のみなさんが和太鼓の演舞を披露して下さった時の様子です。会場には多くの方々にお越しいただき、これからの100年を紡いでいくのにふさわしい9月定例会開会日となりました。

これまで先人が築いてこられた軌跡を大切に、これからの100年に向けて市民の皆様とともに新たな郡山市を築いていきたいです。(古山)

議場見学

8月20日に、あさかの学園
 大学15Aゆうの会・15B楽友
 会の議場見学が行われました。
 前半は、議会の役割や仕組
 みなどについて、議員から説
 明を受けました。

後半の模擬議会では、市長
 役・議長役・議員役に分かれ、
 議長役の進行で、市長役が高
 齢者健康長寿サポート事業の
 利用サービス拡大や開成山公
 園QRコード付き樹木プレー
 トの設置など、身近にある課
 題等に対する政策として提案
 し、議員役は電子採決を行い、
 それぞれの役割を体験しまし
 た。



市長役の提案理由を聞く議員役

12月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
					11/29 本会議（開会）	30 休会
12/1 休会	2 ※陳情締切	3 議案調査	4 事務整理日 （休会）	5 ※請願締切	6 本会議（市政一般質問）	7 休会
8 休会	9 本会議（市政一般質問）	10 常任委員会	11 常任委員会	12 常任委員会	13 事務整理日 （休会）	14 休会
15 休会	16 本会議（閉会）					

- ・正式な日程は、定例会初日に決定するため、変更になる場合があります。
- ・本会議の様子を市議会ウェブページから生中継いたします。
- ・生中継は、各行政センター、緑ヶ丘ふれあいセンター、ビッグアイ6階の市民プラザ（月曜日を除く。）でも御覧いただけます。
- ・録画中継は、生中継の4日後（土・日曜日及び祝日を除く。）から公開します。



市議会中継

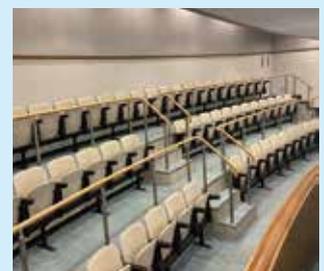


議会を傍聴してみませんか



本会議や委員会の様子は、どなたでも御覧いただけます。本会議、常任委員会の
 会議開始は通常午前10時です。

	本会議	常任委員会
受付場所	西庁舎7階 傍聴受付	西庁舎6階 議会事務局
受付時間	会議開始 30 分前から	会議開始 40 分前～20 分前
定員	74人 ※先着順	各委員会15人 ※定員を超えた場合は抽選



議会報告会・意見交換会

■開催日時

令和6年11月10日(日) 10:00~正午

■会場

市役所西庁舎7階 議場ほか

■定員

30名程度

■申込締切

令和6年11月7日(木)

■その他

・市内在住者が優先となります。

開催内容

市民の皆様により身近な開かれた議会を目指し、議会報告会・意見交換会を開催します。

〈議会報告会〉

定例会の概要や各常任委員会、決算特別委員会など、議会の状況について報告します。

〈意見交換会〉

「次なる100年に向けて、いま、取り組まなければならないこと」をメインテーマに、分科会形式で7つのグループに分かれて参加者と議員との意見交換を行います。

議会報告会・意見交換会 参加申込書

【申込先】郡山市議会事務局 TEL:024-924-2521 FAX:024-938-2810
メール:soumugiji@city.koriyama.lg.jp



QRコードからも
応募できます

住所	〒		年代	<input type="checkbox"/> 10代
氏名				<input type="checkbox"/> 20代
電話番号				<input type="checkbox"/> 30代
メールアドレス			性別	<input type="checkbox"/> 40代
				<input type="checkbox"/> 50代
				<input type="checkbox"/> 60代
				<input type="checkbox"/> 70代
				<input type="checkbox"/> 80代~
			任意記載	男・女
希望される分科会 (第1希望から第3希望まで 番号を記入してください。)			番号	意見交換会分科会テーマ
			1	今後充実させるべき子育て支援策について
			2	公共交通の新しい形と高齢者の移動手段の確保について
			3	市内の交通事情の改善について(渋滞対策など)
第1希望	第2希望	第3希望	4	観光客の誘客に向けた取り組みについて(インバウンド含む)
			5	小中学生の運動機会の確保と今後のあり方について
			6	将来に残すべき施設と新たに作りたい施設について
			7	これからの広域連携の取り組みについて

※ご記入いただいた個人情報は、議会報告会・意見交換会以外の目的には一切利用いたしません。

※分科会については、参加申込状況等によりテーマを統合することがあります。なお、無記入の場合は、こちらで割り振らせていただきます。また、記入いただきましても、ご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

市議会だよりに対する御意見、御感想は議会事務局総務課まで
TEL024-924-2521 メールアドレス soumugiji@city.koriyama.lg.jp
印刷/株式会社やまと印刷

紙ヘリサイクル可



古紙パルプ配合率60%再生紙を使用



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。